

2019年8月

東アジア3地域の
瀬戸内国際芸術祭に関する意向調査
～ 来訪者の関心を「瀬戸芸」から「四国」へ広げ、
地域経済効果を高める ～

S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 1 9



<目次>

目 次	2
◎ 調査の概要・回答者の属性	3
第1章 瀬戸内国際芸術祭について	4
1－1. 瀬戸内国際芸術祭2019の概要	5
1－2. 過去3回の瀬戸内国際芸術祭の実績と今回（2019）の特徴	7
1－3. 瀬戸内国際芸術祭2019春会期の結果	8
第2章 東アジア3地域の瀬戸内国際芸術祭に関する意向調査	
(1) 全回答者	9
2－1. 瀬戸内国際芸術祭の認知度	10
2－2. 瀬戸内国際芸術祭2019への往訪意欲、往訪予定の有無	11
(2) 瀬戸内国際芸術祭2019往訪希望者	12
2－3. 瀬戸内国際芸術祭2019で行ってみたい会場	13
2－4. 瀬戸内国際芸術祭2019で宿泊したいエリア	14
2－5. 瀬戸内国際芸術祭2019における宿泊希望泊数	15
(3) 瀬戸内国際芸術祭往訪経験者	16
2－6. 瀬戸内国際芸術祭に参加経験のある外国人の日本への訪問回数	17
2－7. 瀬戸内国際芸術祭に参加経験のある外国人の四国への訪問回数	18
2－8. 瀬戸内国際芸術祭2019への往訪意欲、往訪予定の有無	19
2－9. 瀬戸内国際芸術祭2019で宿泊したいエリア	20
2－10. 瀬戸内国際芸術祭2019における宿泊希望泊数	21
第3章 アンケート結果を踏まえて	22
～来訪者の関心を「瀬戸芸」から「四国」へ拡げ、地域経済効果を高める～	

◎ 調査の概要・回答者の属性

■ 調査の概要

1. 調査の概要

- 調査方法：インターネットによる調査
- 実施時期：2019年5月～6月
- 調査地域：台湾、香港、韓国の3地域
- 調査対象者：10代～60代の男女
 - (注) 台湾：在住者（FUN! JAPAN TaiwanのWebサイト会員）
 - 香港：在住者（FUN! JAPAN Hong KongのWebサイト会員）
 - 韓国：在住者（FUN! JAPAN SNSからの誘導等）
- 調査方法：E-mail配信／Webサイト等からの誘導
- 有効回答者数：合計:3,533名
 - (台湾：1,134名、香港：1,112名、韓国：1,287名)
- 調査実施・協力会社：株式会社Fun Japan Communications

2. 当レポートの特徴

- ・ 本調査は、「日本好き」消費者からアクセスされるFun Japan社のWebサイト会員を中心に、E-mail配信及びWebサイトからの誘導によりオンラインアンケートを実施した。
- ・ そのため、本調査における回答者の母集団は「日本好き」消費者をベースとしている。日本往訪についても10回以上というリピーターが多い。
- ・ 台湾・香港と韓国で回答回収方法が異なるため、3地域間で比較をする際は留意が必要である。

■ 回答者に占める四国訪問経験者の割合

回答者	台湾	香港	韓国
全員(A)	1,134	1,112	1,287
四国訪問経験者(B)	338	374	435
割合(B/A)	29.8%	33.6%	33.8%

■ 回答者の属性（訪日回数）

回答者	台湾	香港	韓国
全員(A)	1,134	1,112	1,287
訪日10回以上(B)	424	506	542
割合(B/A)	37.4%	45.5%	42.1%

第1章 瀬戸内国際芸術祭について

注：本章に記載の内容及びデータは、瀬戸内国際芸術祭実行委員会公表の資料を元に
DBJが編集、作成したものです。

1-1. 瀬戸内国際芸術祭2019の概要

1. テーマ

「海の復権」 (2010年の第1回の開催より一貫したテーマ)

2. 会期

春(ふれあう春) 4月26日(金)～ 5月26日(日) 31日間

夏(あつまる夏) 7月19日(金)～ 8月25日(日) 38日間

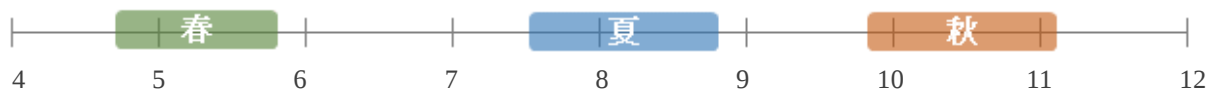
秋(ひろがる秋) 9月28日(土)～11月 4日(月) 38日間

総計 107日間

ふれあう春:4月26日～5月26日

あつまる夏:7月19日～8月25日

ひろがる秋:9月28日～11月4日



出典：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

3. 開催地

瀬戸内海12の島＋高松・宇野

直島／豊島／女木島／男木島／小豆島／大島／犬島／沙弥島(春のみ)／本島(秋のみ)

高見島(秋のみ)／栗島(秋のみ)／伊吹島(秋のみ)

高松港周辺／宇野港周辺



出典：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

1-1. 瀬戸内国際芸術祭2019の概要

4. 主催

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会 長 : 浜田恵造(香川県知事)、名誉会長:真鍋武紀(前香川県知事)
副会長 : 泉雅文(香川県商工会議所連合会会長)、大西秀人(高松市長)
顧 問 : 梅原利之(四国旅客鉄道株式会社顧問)
総合プロデューサー : 福武総一郎(公益財団法人福武財団理事長)
総合ディレクター : 北川フラム(アートディレクター)

5. 瀬戸内国際芸術祭2019(第4回)の重点プロジェクト

■瀬戸内の資源×アーティスト



平尾成志×瀬戸内工芸ズ。
「feel feel BONSAI」 Photo : Shintaro Miyawaki

瀬戸内の特産品や農水産物等に焦点を当て、アーティストが美術的な工夫を凝らすことで、来場者に面白く体験してもらえるような取り組みを展開。

■アジアの各地域×瀬戸内の島々



瀬戸内アジアフォーラム
Photo : Shintaro Miyawaki Setouchi Asia Forum

アジアのアーティストが島で作品を展開するほか、アジア各国から識者が集まってアートの役割を話し合うアジアフォーラムを開催。

■島の「食」×アーティスト



小豆島 暦 こよみ
“nouvelle island cuisine Koyomi”

瀬戸内の島々に残る伝統的な『食』を、アーティストが掘り起こし、アップデートして提供することで、来場者に島の歴史・風土を感じ、地域の人々とのふれあいを味わってもらえる仕掛けを展開。

■芝居・舞踏の多様な展開



クリスティアン・バステアンス
Christiaan Bastiaans

国内外の名優が出演する舞台公演や、台湾を中心とした数百人のアカペラ合唱団の公演など、演劇やダンス等のパフォーマンスを従来以上に展開。

1-2.過去3回の瀬戸内国際芸術祭の実績と今回（2019）の特徴

6. 過去3回の実績と今回の概要

	第1回（2010年）	第2回（2013年）	第3回（2016年）	第4回（2019年）
名称	瀬戸内国際芸術祭2010 「アートと海を巡る百日間の冒険」	瀬戸内国際芸術祭2013 「アートと島を巡る瀬戸内海の四季」	瀬戸内国際芸術祭2016	瀬戸内国際芸術祭2019
開催期間	2010年7月19日～10月31日 105日間	春：2013年3月20日～4月21日 33日間 夏：2013年7月20日～9月1日 44日間 秋：2013年10月5日～11月4日 31日間	春：2016年3月20日～4月17日 29日間 夏：2016年7月18日～9月4日 49日間 秋：2016年10月8日～11月6日 30日間	ふれあう春： 2019年4月26日～5月26日 31日間 あつまる夏： 2019年7月19日～8月25日 38日間 ひろがる秋： 2019年9月28日～11月4日 38日間
会場	1. 直島 2. 豊島 3. 女木島 4. 男木島 5. 小豆島 6. 大島 7. 犬島 8. 高松港周辺	1. 直島 2. 豊島 3. 女木島 4. 男木島 5. 小豆島 6. 大島 7. 犬島 8. 沙弥島 9. 本島 10. 高見島 11. 栗島 12. 伊吹島 13. 高松港周辺 14. 宇野港周辺	1. 直島 2. 豊島 3. 女木島 4. 男木島 5. 小豆島 6. 大島 7. 犬島 8. 沙弥島(春) 9. 本島(秋) 10. 高見島(秋) 11. 栗島(秋) 12. 伊吹島(秋) 13. 高松港周辺 14. 宇野港周辺	1. 直島 2. 豊島 3. 女木島 4. 男木島 5. 小豆島 6. 大島 7. 犬島 8. 沙弥島(春) 9. 本島(秋) 10. 高見島(秋) 11. 栗島(秋) 12. 伊吹島(秋) 13. 高松港周辺 14. 宇野港周辺
テーマ	海の復権			
作品・イベント	参画作家数	75組	200組	226組
	参画作家国	18ヶ国	26ヶ国	34ヶ国
	作品数	76点	207点	206点
	イベント回数	21	40	37
来場者数（人）	合 計	938,246	1,070,368	1,040,050
	春会期	-	263,014	254,284
	夏会期	-	435,370	401,004
	冬会期	-	371,984	384,762

※(春)は春会期のみ、(秋)は秋会期のみ

7. 瀬戸内国際芸術祭2019(第4回)の特徴

①会期

過去2回と同じく、日本の「四季」を海外の人に知ってもらうため、[春・夏・秋の3シーズン](#)に分けて開催。その上で、[各シーズンにテーマ](#)を設け、会期毎の特徴を際立たせている。

また、春会期は4/26から5/26までと、これまでに比べて1カ月程度後ろ倒しにすることで、10連休に重なり、来場者がより訪れやすくなった。夏会期は7月19日～8月25日と前回より11日間短く、秋会期は9月28日～11月4日と8日間長くなる。

②会場

会場は前回と同じだが、夏会期には高松市北浜町の北浜アリーでも作品を展示するなど、各島から高松港に着いてからの[回遊性を重視](#)している。

③参加アーティスト・作品数

参加作家数及び作家国は前回とほぼ同数であるが、[作品数は213点と過去最大](#)となる。

④アクセス強化

2018年4月に高松空港が民営化されたことを機に、[同年10月に高松一ソウル線が、2019年3月に高松一台北線がデیلیー化](#)され、前回開催時よりも東アジアを中心とする海外とのアクセスが強化された。

また、港と島を繋ぐ船便では、瀬戸内国際芸術祭の開幕に合わせた高松港一大島を結ぶ観光客向けの初の定期便就航や、「フェリー8航路限定3日間乗り放題乗船券」の発行(2019年5月末時点販売状況 [8,937枚](#)(速報値))など、観光客の利便性を高める対策が取られている。

1-3. 瀬戸内国際芸術祭2019春会期の結果

1. 概要

- 開催期間 2019年4月26日(金)～5月26日(日) 計31日間
- 会場 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、高松港・宇野港周辺 (10会場)
- アート作品 作品数151 ■イベント イベント数14
- 来場者数 38万6,909人

2. 来場者アンケートの概要

(1)来場者の性別			(2)来場者の年齢			(3)来場者の居住地			(4)過去の芸術祭への来場の有無		
性別	人数	割合	年齢	人数	割合	エリア	人数	割合	回答	人数	割合
女性	1,430	65.8%	10歳未満	3	0.2%	香川県内	656	30.1%	ある	1,690	57.2%
男性	743	34.2%	10～19歳	40	2.0%	岡山県内	255	11.8%	ない※	1,265	42.8%
総計	2,173	100.0%	20～29歳	453	22.7%	県外	793	36.4%	総計	2,955	100.0%
			30～39歳	464	23.2%	国外	472	21.7%	※無回答含む		
			40～49歳	314	15.7%	総計	2,176	100.0%	リピーターが過半を占める		
			50～59歳	311	15.6%				海外からの来場者が2割超		
			60～69歳	260	13.0%				来場者の6割強が女性		
			70歳以上	153	7.6%				年代別では20代～30代が約46%と最も多い		
			総計	1,998	100.0%						

3. 広報の状況

- 新聞・テレビ・雑誌等の各種メディアから、[483件](#)の取材申込み(2019年6月時点)。
- 芸術祭公式ウェブサイトのアクセス数(2019年4月26日～5月26日)は499,190となっており、うち[約18.5%](#)が海外からのアクセス。
- 公式アプリ(2019年4月5日配信開始)の新規ダウンロード数は、[23,159](#)(2019年5月26日時点)。
- 公式ガイドブック(2019年4月23日発売)は、初版[32,800部](#)発行。

4. 運営の状況

- 瀬戸内国際芸術祭のボランティアサポーター「こえび隊」として、作品制作や作品受付などに[2,204人](#)が参加。
- 作品受付に参加した「こえび隊」のうち、[28.9%](#)が海外からの参加者。
- 2019年2月25日に高松港ターミナルビル3階に瀬戸内国際芸術祭総合案内所を開設し、案内業務を開始。開幕日からは、各島の港を中心に[18か所](#)の案内所を開設し、案内業務を実施。

5. 旅行商品の販売状況

- 今回初めてとなる「瀬戸内国際芸術祭2019オフィシャルツアー」の参加者数は[1,468名](#)(延べ43回催行、定員1,662名、[参加率88%](#))。
- 作品鑑賞パスポートの販売状況は、春会期終了月末までで[59,252枚](#)(速報値)。

6. 県内連携事業

- 芸術祭の開催効果を県内全域に波及させるため、香川県内の市町や団体等が実施する文化芸術を主体としたアートイベントや県内市町が推薦する地元の地域資源を「県内連携事業」に位置づけ、芸術祭来場者を対象にしたビンゴラリーを実施。春会期中は[53の連携事業](#)が開催された。

第2章 東アジア3地域の 瀬戸内国際芸術祭に関する意向調査

(1) 全回答者

2-1. 瀬戸内国際芸術祭の認知度

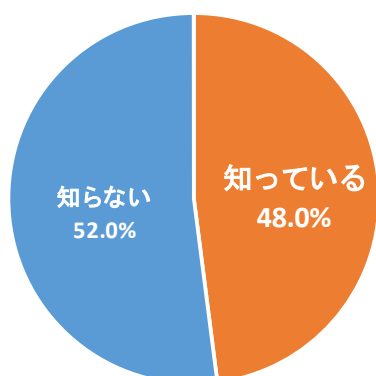
(アンケート結果の分析)

- 瀬戸内国際芸術祭の認知度は、台湾（48.0%）、香港（34.1%）、韓国（28.4%）と、3～5割程度の方が知っていると答えており、いずれの地域においても高い割合となった。
- いずれの地域（台湾、香港、韓国）でも訪日10回以上が30%を超える日本好き消費者が回答者であるという前提はあるものの、3地域において瀬戸内国際芸術祭はよく認知されているという結果となった。

Q. 瀬戸内国際芸術祭を知っていますか？

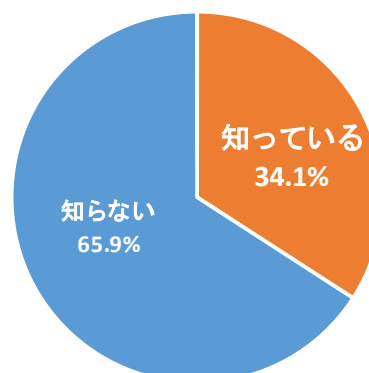
■台湾

台湾 (N=1,110)



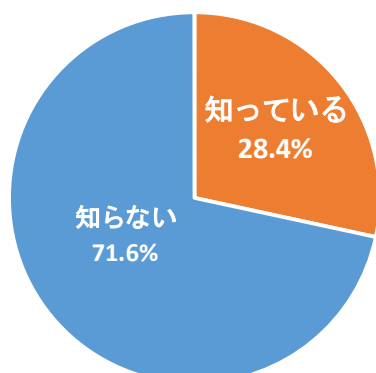
■香港

香港 (N=1,075)



■韓国

韓国 (N=1,149)



2-2. 瀬戸内国際芸術祭2019への往訪意欲、往訪予定の有無

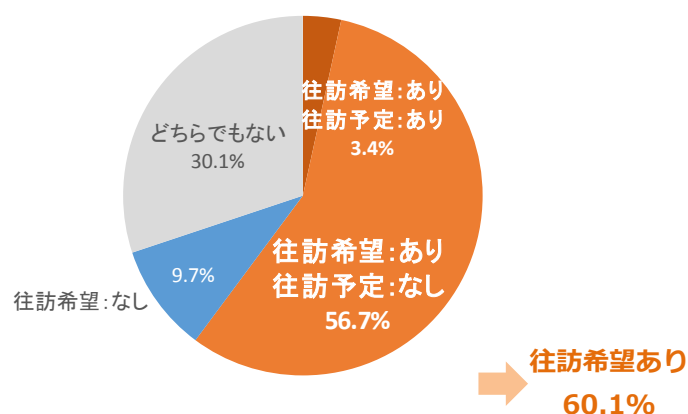
(アンケート結果の分析)

- 今年開催中の「瀬戸内国際芸術祭2019」への往訪意欲を尋ねると、台湾では60.1%、香港では42.1%、韓国では82.6%の人が往訪希望ありと回答した。
 - 但し、実際に往訪予定ありとの回答はいずれの地域でもあまり高くはなかった。
- 一方で、往訪希望なしと答えた人の割合はいずれの地域でも1割程度に留まっている。

Q. 2019年に開催される瀬戸内国際芸術祭2019に行ってみたいですか？

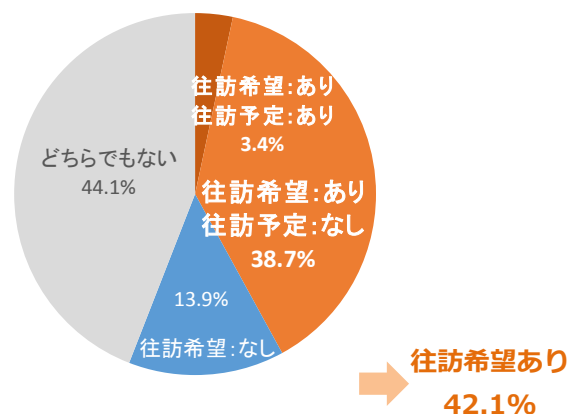
■台湾

台湾 (N=1,105)



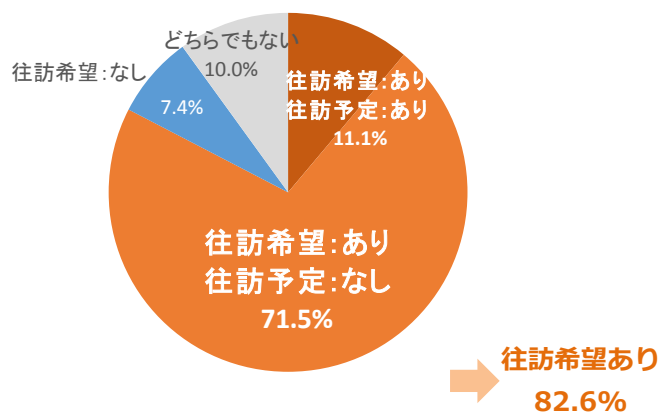
■香港

香港 (N=1,071)



■韓国

韓国 (N=1,122)



第2章 東アジア3地域の 瀬戸内国際芸術祭に関する意向調査

(2) 瀬戸内国際芸術祭2019往訪希望者

2-3. 瀬戸内国際芸術祭2019で行ってみたい会場

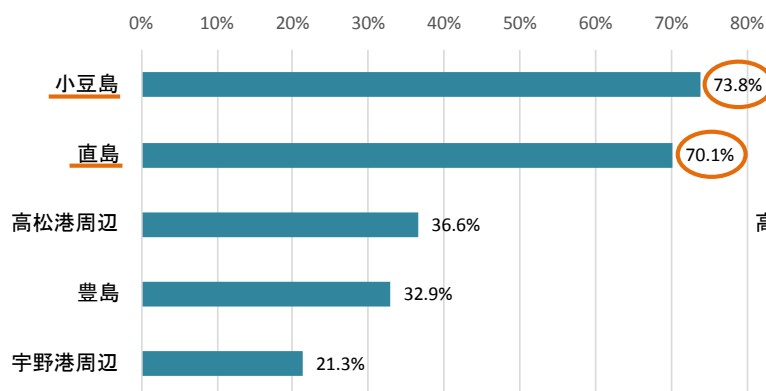
(アンケート結果の分析)

- 今年開催中の「瀬戸内国際芸術祭2019」へ往訪希望ありと回答した人に対して、行ってみたい会場を尋ねたところ、行ってみたい会場のイメージがつく回答者の中では、台湾、香港では小豆島が最も多く、韓国では直島が最も多い結果となった。
 - 台湾では、小豆島73.8%、直島70.1%と、これら2つの会場が7割を超える高い水準となった。
 - 香港では、小豆島61.0%、直島58.1%と、割合としては台湾より低いものの、他の会場と比較すると、これら2つの会場への往訪希望が突出して高くなっている。
 - 一方、韓国では直島75.2%と、3地域の中で最も高い割合となっており、韓国における直島の人気が高いことが分かる。
- 小豆島と直島以外では、全体的に高松港周辺や豊島へ行ってみたいと回答した人が多くなっている。

Q. 瀬戸内国際芸術祭ではどの会場に行ってみたいですか？（複数回答可。上位5会場）

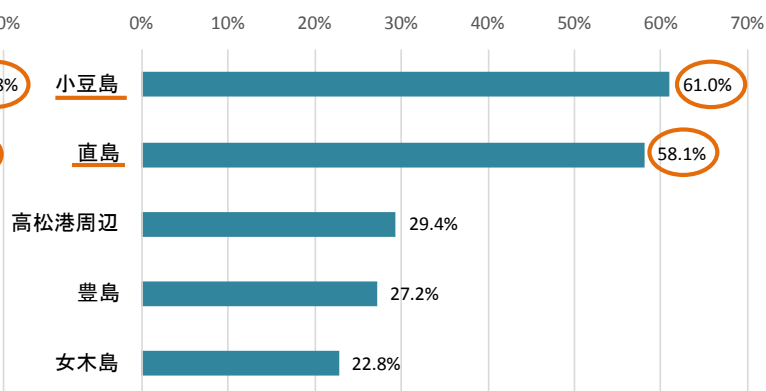
■台湾

台湾 (N=164)



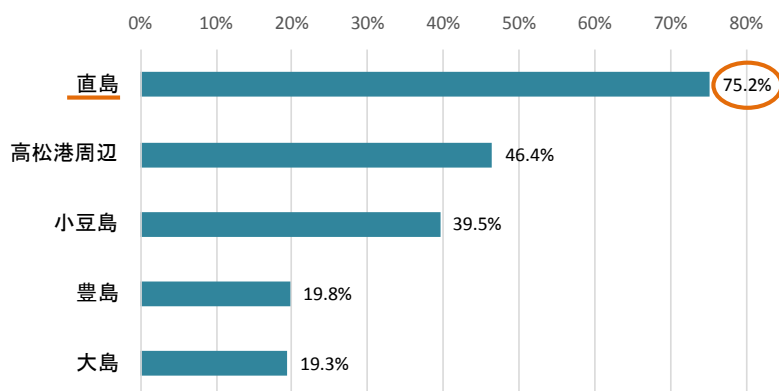
■香港

香港 (N=136)



■韓国

韓国 (N=491)



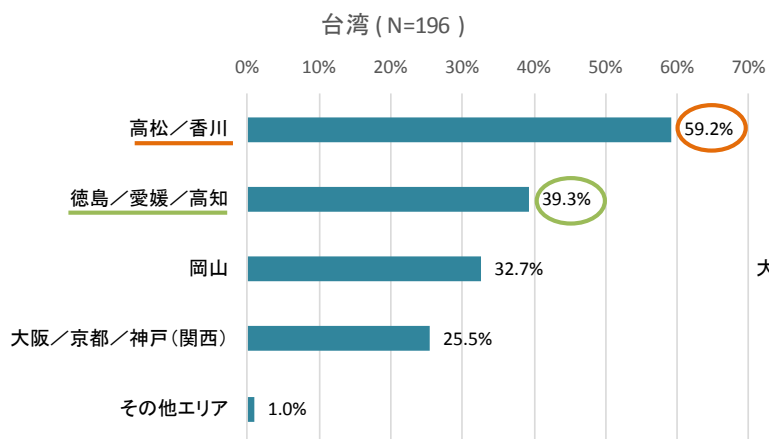
2-4. 瀬戸内国際芸術祭2019で宿泊したいエリア

(アンケート結果の分析)

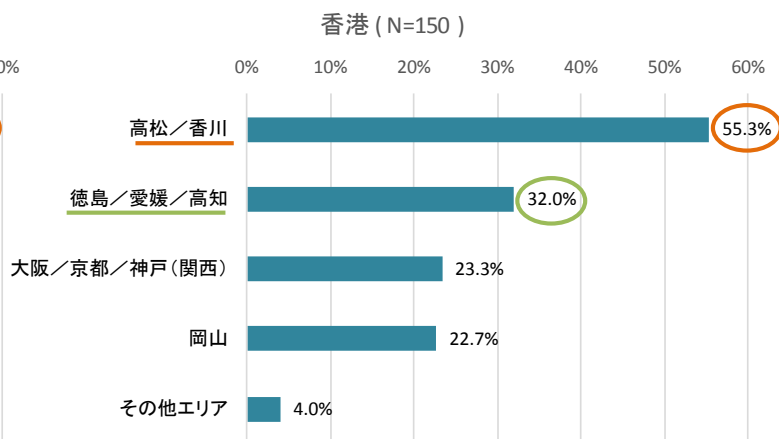
- 今年開催中の「瀬戸内国際芸術祭2019」へ往訪希望ありと回答した人に対して、その際の日本旅行で宿泊したいエリアを尋ねると、宿泊したいエリアのイメージがつく回答者の中では、いずれの地域でも「高松／香川」に泊まりたいと回答した人の割合が最も高い（台湾59.2%、香港55.3%、韓国69.7%）。会場となっている島々を巡り、そのまま香川県で宿泊したいと考えている人が多いことが分かる。
- 一方で、香川県以外の四国各県である「徳島／愛媛／高知」に泊まりたいとの回答が、いずれの地域でも「高松／香川」の次に多くなっている。これらの結果より、瀬戸内国際芸術祭が香川県のみならず、他3県も含めた四国全体への周遊につながる可能性があると言える。
- また、四国四県以外では、岡山や関西エリアへの宿泊希望者が、台湾と香港でそれぞれ2～3割存在することから、瀬戸内という広域での周遊につながる可能性もあると考えられる。

Q. 瀬戸内国際芸術祭を訪れる日本旅行ではどのエリアに宿泊したいですか？（複数回答）

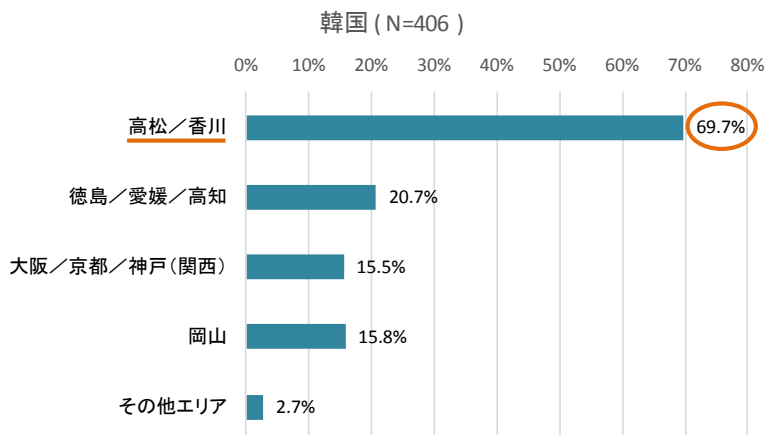
■台湾



■香港



■韓国



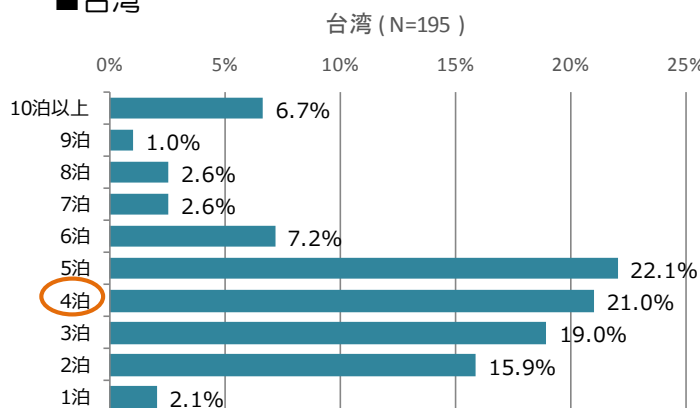
2-5. 瀬戸内国際芸術祭2019における宿泊希望泊数

(アンケート結果の分析)

- 今年開催中の「瀬戸内国際芸術祭2019」へ往訪希望ありと回答した人に対して、その際の日本旅行で何泊日本に宿泊したいかを尋ねたところ、平均泊数は、台湾：4.4泊、香港：4.7泊、韓国：3.8泊という結果となった。
- 一方、訪日旅行の平均泊数（観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018）」確報値）は、台湾：6.8泊、香港：6.3泊、韓国：4.4泊となっている。いずれの地域でもこれら実際の平均泊数を下回っていることから、瀬戸内国際芸術祭を訪れた日本旅行において、東アジア3地域からの旅行者の滞在日数（泊数）を長期化する余地があると言える。
- 瀬戸芸を訪れる日本旅行での宿泊希望泊数について、台湾は4～5泊、香港は5～6泊がボリュームゾーンとなっているのに対し、韓国は3泊と回答した人の割合がとりわけ高くなっている。
- 韓国からの日本旅行者は、概して宿泊日数が短く（平均泊数4.4泊）、あまり周遊しない傾向にある。このことが、本調査でも瀬戸芸2019における日本での宿泊希望泊数（3.8泊と短い）や宿泊したいエリア（高松／香川に集中）に現れた結果となった。

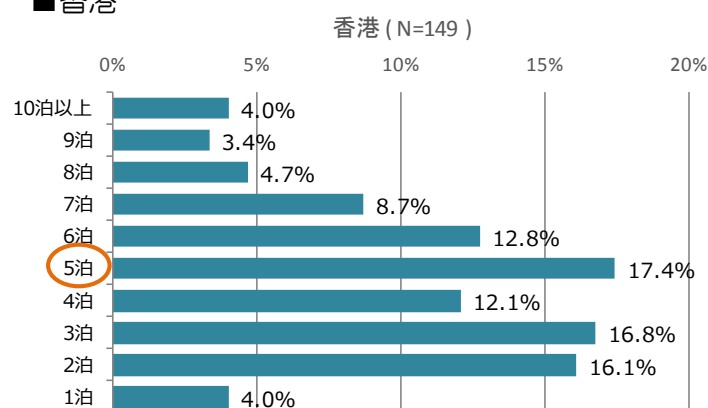
Q. 瀬戸内国際芸術祭を訪れる日本旅行では何泊日本に宿泊したいですか？

■台湾



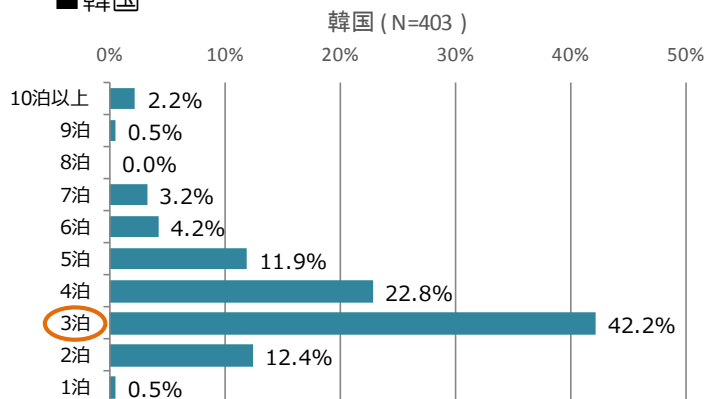
➡ 平均: **4.4泊** を希望

■香港



➡ 平均: **4.7泊** を希望

■韓国



➡ 平均: **3.8泊** を希望

(参考) 3地域からの訪日外国人の平均泊数

台湾 (N=2,647)	香港 (N=2,727)	韓国 (N=3,492)
6.8泊	6.3泊	4.4泊

(参考) 観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年）」
確報値

第2章 東アジア3地域の 瀬戸内国際芸術祭に関する意向調査

(3) 瀬戸内国際芸術祭往訪経験者

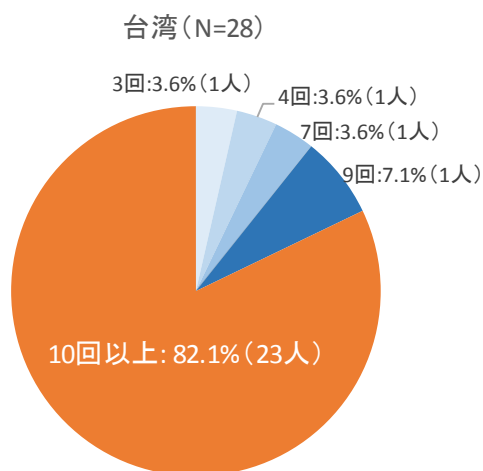
2-6. 瀬戸内国際芸術祭に参加経験のある外国人の日本への訪問回数

(アンケート結果の分析)

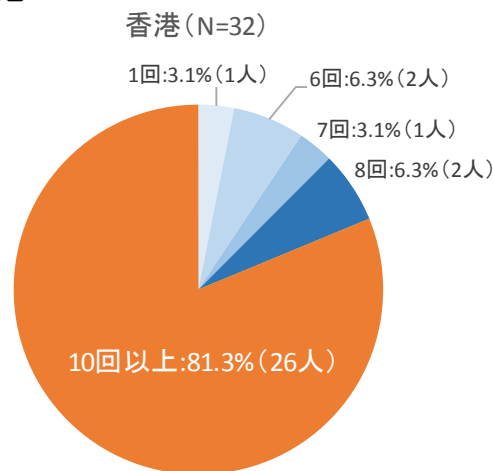
- 過去3回の瀬戸内国際芸術祭への往訪経験を尋ねると、台湾:28人、香港:32人、韓国:24人の合計84人から往訪経験があるとの回答結果を得た。
- 瀬戸内国際芸術祭に参加経験のある外国人に訪日回数を尋ねたところ、各地域とも8割前後の回答者が「10回以上の訪日経験がある」との回答であった（10回以上訪日経験があると回答した割合は、台湾:82.1%、香港:81.3%、韓国:79.2%）。
- 全回答者に占める「10回以上の訪日経験がある」回答者の割合は、台湾:37.4%、香港:45.5%、韓国:42.1%であり（図表）、本アンケートは日本好きの回答者が多く、訪日リピーターが多くを占める傾向にあるものの、その中でも瀬戸内国際芸術祭に参加経験のある外国人は、日本に10回以上訪問している割合がいずれの地域でも8割前後に及ぶことから、とりわけ日本に旅行しなれている旅行者の割合が高いと言える。

Q. これまでのあなたの日本訪問回数をお答え下さい。

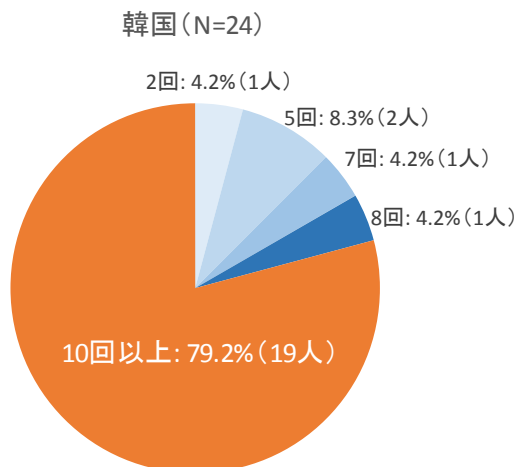
■台湾



■香港



■韓国



(図表) 全回答者の訪日回数

回答者	台湾	香港	韓国
全員 (A)	1,134	1,112	1,287
訪日10回以上 (B)	424	506	542
割合 (B/A)	37.4%	45.5%	42.1%

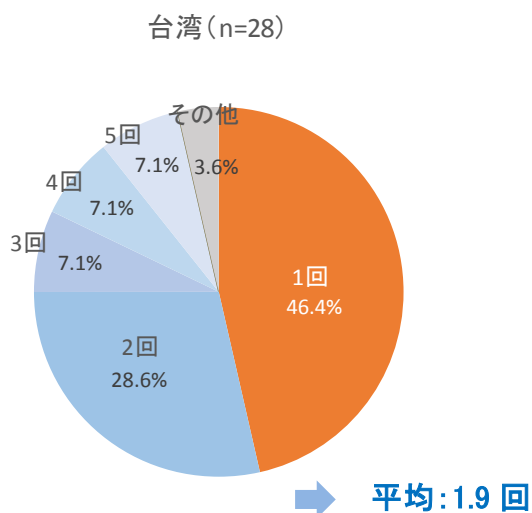
2-7. 瀬戸内国際芸術祭に参加経験のある外国人の四国への訪問回数

(アンケート結果の分析)

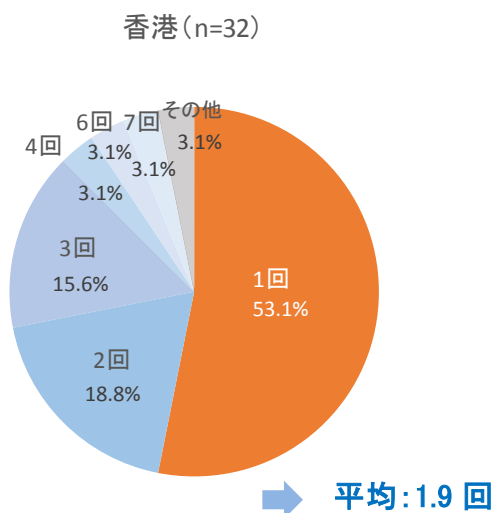
- アンケートにおいて、瀬戸内国際芸術祭に参加経験のある外国人（台湾:28人、香港:32人、韓国：24人、合計84人）に、四国への往訪経験について尋ねたところ、平均訪問回数は台湾：1.9回、香港：1.9回、韓国：3.8回となった。
 - 特に台湾、香港では四国往訪経験が1回との回答が多かった。瀬戸内国際芸術祭以外にはあまり四国に往訪していないことが推察される。そのため、瀬戸内国際芸術祭への来場者に四国旅行のリピーターになってもらうための工夫が必要である。
 - 一方で、本アンケート上は、韓国については四国往訪経験が複数回との回答が多かった。とりわけ、四国に10回以上往訪したことがあるとの回答も4名に上った。

Q. これまでのあなたの四国への訪問回数をお答え下さい。

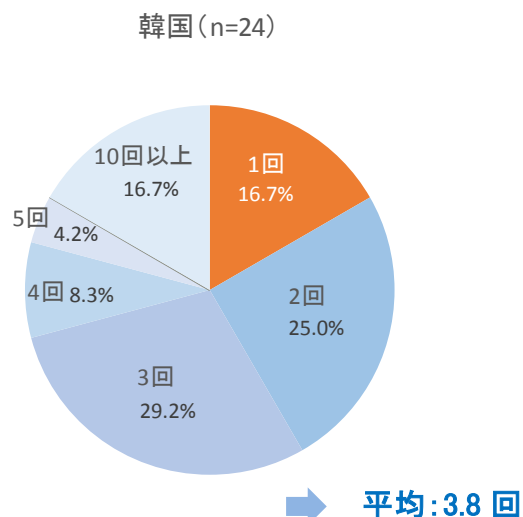
■台湾



■香港



■韓国



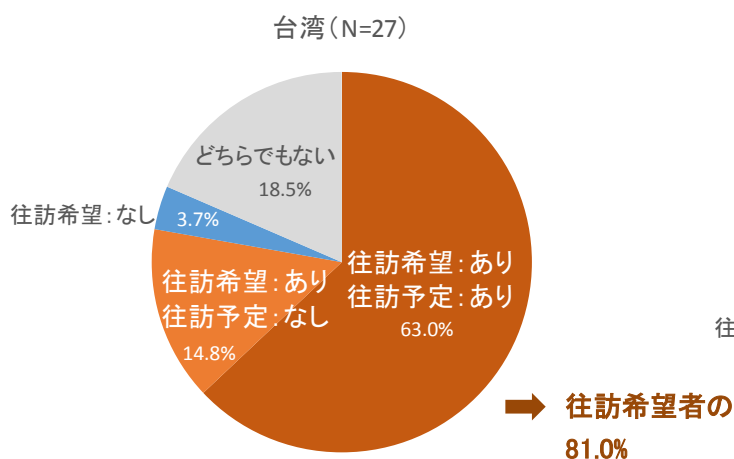
2-8. 瀬戸内国際芸術祭2019への往訪意欲、往訪予定の有無

(アンケート結果の分析)

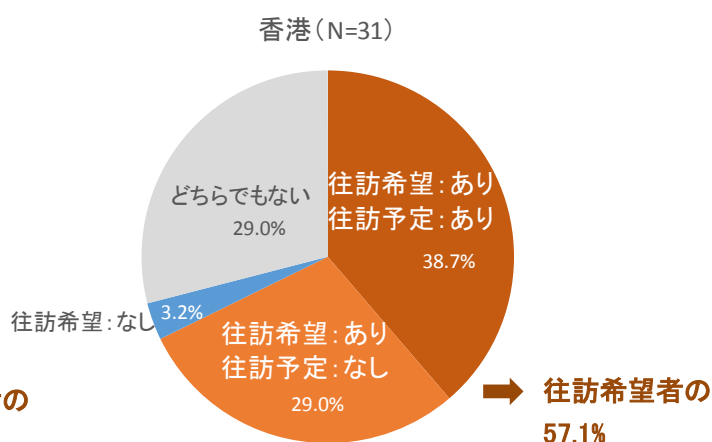
- 瀬戸内国際芸術祭への往訪経験者に今年開催中の「瀬戸内国際芸術祭2019」への往訪希望を尋ねると、全体で8割近い回答者が往訪希望ありと回答した（台湾：77.8%、香港：67.7%、韓国：95.5%）。
- また、往訪希望者に更に往訪予定の有無を尋ねると、いずれの地域でも4割～8割に至る往訪希望者が「往訪の予定あり」と回答した（台湾：81.0%、香港：57.1%、韓国：42.9%）。過去3回開催された瀬戸内国際芸術祭への往訪経験者は、今年開催中の瀬戸内国際芸術祭2019への往訪を既に予定している回答者が多いとの結果となった。
 - 特に台湾で「往訪予定あり」との回答者が多い。
- また、瀬戸内国際芸術祭往訪経験者は、既に過去2回以上瀬戸内国際芸術祭に往訪している旅行者が多いこと（図表）からも、東アジア3地域からの瀬戸内国際芸術祭往訪者はリピーターが多いことが伺える。

Q. 2019年に開催される瀬戸内国際芸術祭2019に行ってみたいですか？

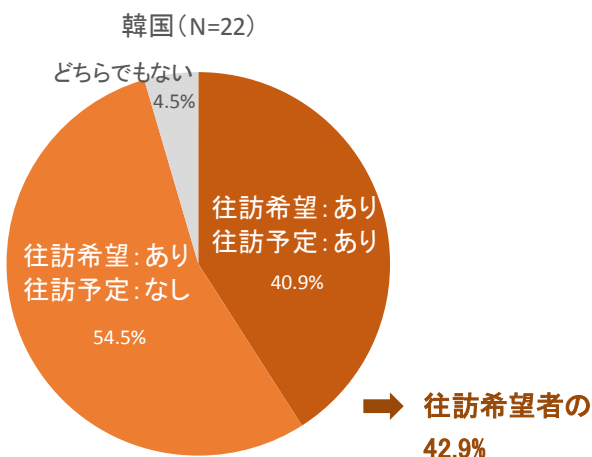
■台湾



■香港



■韓国



(図表) 瀬戸内国際芸術祭訪問経験者に占める
瀬戸内国際芸術祭へのリピーターの比率

往訪回数	台湾	香港	韓国
1回	18	24	12
2回以上	7	5	10
瀬戸芸への リピーター比率	28.0%	17.2%	45.4%

2-9. 瀬戸内国際芸術祭2019で宿泊したいエリア

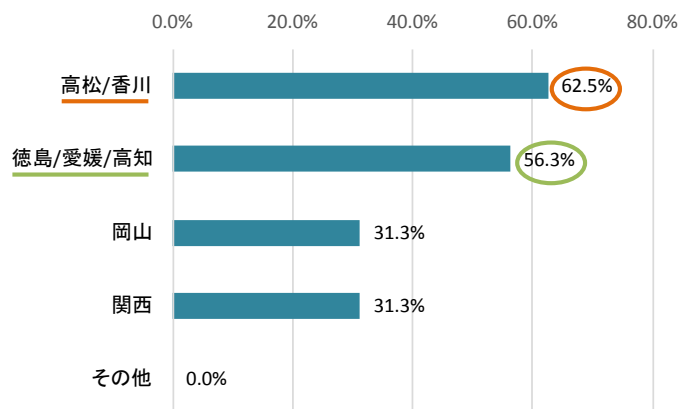
(アンケート結果の分析)

- 瀬戸内国際芸術祭往訪経験者に、瀬戸内国際芸術祭を訪れる日本旅行でどのエリアに宿泊したいかを尋ねたところ、台湾（62.5%）、香港（75.0%）、韓国（94.4%）いずれの地域でも「高松／香川」に宿泊を希望する回答者が最も多かった。
 - 特に韓国の瀬戸内国際芸術祭往訪経験者は、「高松／香川」への宿泊を希望する割合が94.4%をしめた。
- 「岡山」への宿泊を希望する回答者は、台湾で31.3%、香港で30.0%、韓国で11.1%となった。
- 「徳島／愛媛／高知」への宿泊を希望する割合は、台湾では56.3%に及んだのに対し、香港では25.0%、韓国では5.6%にとどまった。
 - 台湾からの瀬戸内国際芸術祭往訪経験者は、瀬戸内国際芸術祭を往訪する際に、香川以外の四国や大阪などの周遊を希望する傾向にある。
 - 一方、韓国からの日本旅行者は、概して宿泊数が短く（平均泊数4.4泊）、あまり周遊しない傾向にある。そのことが本調査でも、韓国からの瀬戸芸往訪経験者の希望宿泊エリア（他2地域と比べ、高松／香川に希望が集中）に現れた結果となった。

Q. 瀬戸内国際芸術祭を訪れる日本旅行ではどのエリアに宿泊したいですか？（複数回答）

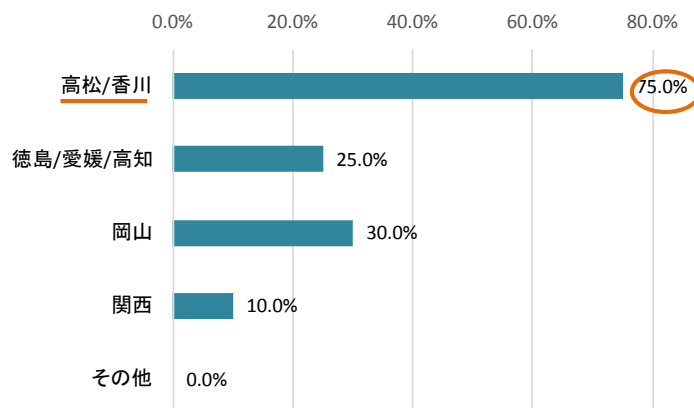
■台湾

台湾 (N=16)



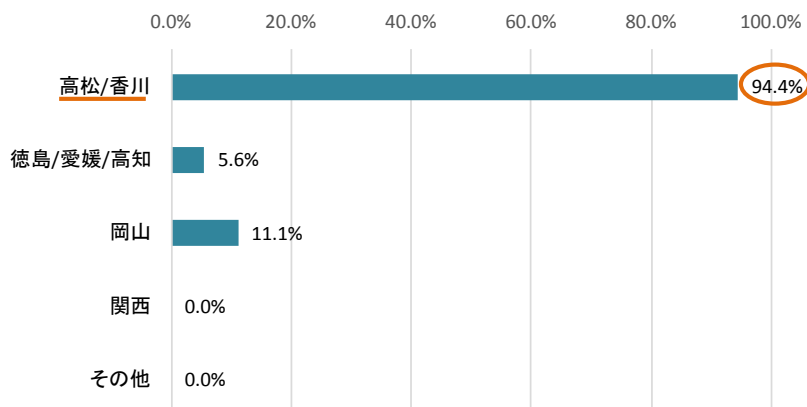
■香港

香港 (N=20)



■韓国

韓国 (N=18)



(参考) 瀬戸芸往訪希望者の回答

宿泊希望地	台湾	香港	韓国
高松／香川	59.2%	55.3%	69.7%
徳島／愛媛／高知	39.3%	32.0%	20.7%
岡山	32.7%	22.7%	15.8%
関西	25.5%	23.3%	15.5%
その他	1.0%	4.0%	2.7%

2-10. 瀬戸内国際芸術祭2019における宿泊希望泊数

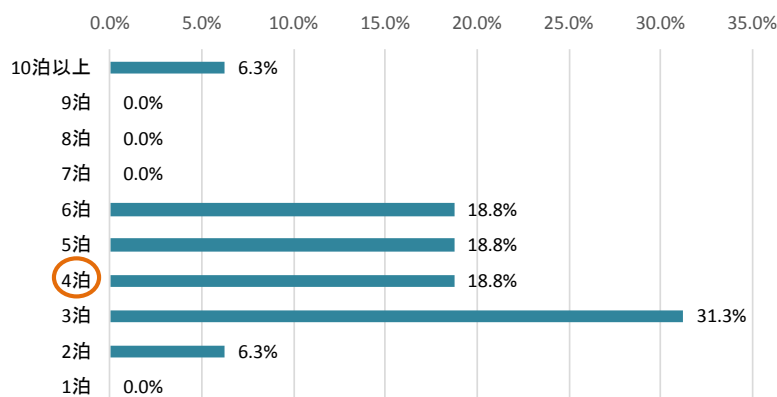
(アンケート結果の分析)

- 瀬戸内国際芸術祭を訪れる日本旅行での宿泊希望泊数（平均）は、台湾：4.5泊、香港：5.2泊、韓国：4.2泊となった。中央値は台湾：4泊、香港：5泊、韓国：3泊。
- この結果は、瀬戸内国際芸術祭2019往訪希望者の平均宿泊希望泊数（台湾：4.4泊、香港：4.7泊、韓国：3.8泊）と比べるとやや長いものの大きな違いは無い。3地域からの訪日旅行者の平均泊数（台湾：6.8泊、香港：6.3泊、韓国：4.4泊）を下回っている点も同様である。
 - とりわけ、韓国は「3泊」と回答した人の割合が過半数を超える（55.6%）。
- いずれの地域でもこれら実際の平均泊数を下回っていることから、瀬戸内国際芸術祭を訪れた日本旅行でも、より滞在時間を増やし、滞在日数（泊数）を長期化する余地があると言える。

Q. 瀬戸内国際芸術祭を訪れる日本旅行では何日間日本に宿泊したいですか？

■台湾

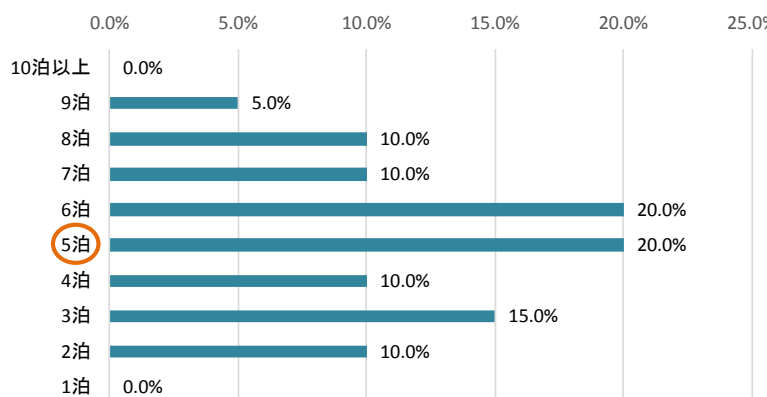
台湾 (N=16)



平均: **4.5泊** を希望

■香港

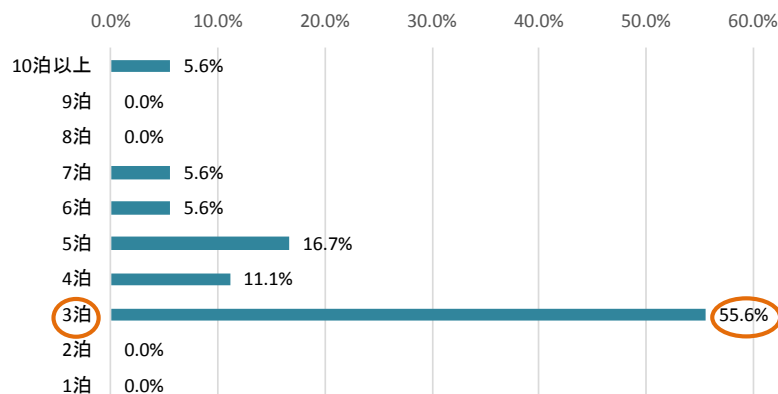
香港 (N=20)



平均: **5.2泊** を希望

■韓国

韓国 (N=18)



平均: **4.2泊** を希望

(参考) 瀬戸芸往訪希望者の
瀬戸芸を訪れる日本旅行での希望泊数 (2-5)

台湾 (N=195)	香港 (N=149)	韓国 (N=403)
4.4泊	4.7泊	3.8泊

(参考) 3地域からの訪日外国人の平均泊数

台湾 (N=2,647)	香港 (N=2,727)	韓国 (N=3,492)
6.8泊	6.3泊	4.4泊

(出典) 観光庁「訪日外国人消費動向調査 (2018年)」
確報値

第3章 アンケート結果を踏まえて ～来訪者の関心を「瀬戸芸」から「四国」へ広げ、 地域経済効果を高める～

3. アンケート結果を踏まえて

～来訪者の関心を「瀬戸芸」から「四国」へ広げ、地域経済効果を高める～

【結論】

1. 2019年8月現在、第4回となる瀬戸内国際芸術祭2019の夏会期が開催されている。5月に終了した春会期の来場者数は前回（2016）比52%増の386,909人を記録した。瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局が春会期に実施した来場者アンケート調査（P8参照）によると、来場者の21.7%が外国人（国外居住者）との結果となった。
2. 当レポートは東アジア3地域（台湾、香港、韓国）の日本好き消費者を対象に、瀬戸内国際芸術祭についてオンラインアンケート調査を実施したものである。アンケート対象者が日本好き消費者層であること、台湾・香港と韓国で回答回収方法が異なること、瀬戸内国際芸術祭に実際に往訪経験のある回答者（瀬戸芸往訪経験者）は合計84人と多くないこと、といった制約はあるものの、3地域のアンケート回答者の瀬戸内国際芸術祭に関する意向のポイントをまとめると以下の通りとなる。

【分析結果のポイント】

（1）全回答者

- ① 全回答者の瀬戸内国際芸術祭（以下、「瀬戸芸」という。）の認知度、瀬戸芸2019への往訪意欲はいずれの地域でも高い結果となった。

（2）瀬戸芸往訪希望者

- ① 瀬戸芸往訪希望者に瀬戸芸2019で行ってみたい会場を尋ねると、台湾・香港が「小豆島」「直島」への往訪希望が高いのに対し、韓国は「直島」の人气が圧倒的である。
- ② 瀬戸芸2019を訪れる日本旅行について
 - i. 宿泊したいエリアは、いずれの地域でも「高松／香川」を希望する割合が最も多い。台湾・香港では「徳島／愛媛／高知」（香川以外の四国3県）を挙げる比率も高い。
 - ii. 宿泊希望泊数は、いずれの地域でも日本旅行における平均泊数よりも短い。

（3）瀬戸芸往訪経験者

- ① これまでに過去3回開催された瀬戸芸に往訪経験のある回答者（「瀬戸芸往訪経験者」）は、いずれの地域でも訪日回数10回以上の何度も訪日経験のある回答者がほとんど（3地域とも8割前後）を占める。
- ② 一方、瀬戸芸往訪経験者の四国への訪問（訪四）回数はそれほど多くない（平均訪四回数は台湾：1.9回、香港：1.9回、韓国：3.8回）ことから、瀬戸芸以外にはあまり四国に往訪していないことが推察される（瀬戸芸以外の四国地域への旅行の広がりがあまり認められない）。
- ③ また、瀬戸芸往訪経験者は、瀬戸芸2019への往訪を希望し、既に往訪予定を立てているとの回答が多かった。加えて、瀬戸芸往訪経験者は、複数回（2回以上）瀬戸芸への往訪経験のある回答者の比率が高い。以上より、瀬戸芸に魅了され、3地域から瀬戸芸に繰り返し訪れるコアな「瀬戸芸リピーター」が多く存在する可能性がある。
- ④ 瀬戸芸2019を訪れる日本旅行については、瀬戸芸往訪希望者（(2)②）と同様の結果となった。
 - i. 宿泊したいエリアは、いずれの地域でも「高松／香川」を希望する割合が最も多い。台湾・香港では「徳島／愛媛／高知」（香川以外の四国3県）を挙げる比率も高い。
 - ii. 宿泊希望泊数は、いずれの地域でも日本旅行における平均泊数よりも短い。

3. アンケート結果を踏まえて

～来訪者の関心を「瀬戸芸」から「四国」へ拡げ、地域経済効果を高める～

3. 今回のアンケート結果を踏まえ、東アジア3地域の人々の瀬戸内国際芸術祭への関心を更に高め、瀬戸芸及び四国へのリピーターとなってもらい、結果として東アジア3地域からのインバウンド客がもたらす四国地域への経済効果を高めるための方策として、以下が考えられる。

(1) 瀬戸芸を訪れる旅行者に「四国」リピーターになってもらう

～来訪者の関心を「四国」へ拡げ、往訪機会を増やす～

- ・ 瀬戸芸往訪経験者は、繰り返し日本を訪れるコアな訪日リピーターが多い。瀬戸芸についても過去に何回か瀬戸芸を訪れた経験があり、今回の瀬戸芸2019に関しても既に往訪予定のある「瀬戸芸リピーター」が多いと推察される。
- ・ 反面、アンケートによると瀬戸芸往訪経験者の四国への往訪回数はそれほど多くない。瀬戸芸への往訪が、四国地域への旅行にまで拡がりを見せるには至っていないことが推測される。
- ・ そのため、3地域からの瀬戸芸を訪れる旅行者に、瀬戸芸だけでなく瀬戸芸以外の「四国」を体感してもらい、瀬戸芸の会期外にも会場の島々をはじめとする四国に来てもらうことに繋げていく必要があると考える。
- ・ 今回の瀬戸内国際芸術祭2019は、夏会期に高松港から市街地寄りの「北浜アリー」でも作品を展示するなど、回遊性を意識した構成となっている。また、香川県内をはじめ周辺エリアでは、期間中にアートイベントなど連携事業が開催される。瀬戸芸来訪者の往訪先を会期外、「四国」エリアに拡げていくためには、このような取り組みを更に深化させるとともに、連携エリアを拡げることも検討に値するものと思われる。

(2) 瀬戸芸を訪れる日本旅行における宿泊日数を伸ばす

～来訪者の足を「四国」へ拡げ、滞在日数を伸ばす～

- ・ 瀬戸芸往訪希望者、往訪経験者とも、瀬戸芸を訪れる日本旅行での宿泊希望泊数は、日本旅行における平均泊数より短く、長期化できる余地があると考ええる。
- ・ 一方、瀬戸芸を訪れる日本旅行の際に宿泊したいエリアを尋ねたところ、いずれの地域でも「高松／香川」を希望する割合が最も多い一方、特に台湾・香港の瀬戸芸往訪希望者・経験者は、香川の次に「徳島／愛媛／高知」（香川以外の3県）への宿泊を希望する回答が多かった。
- ・ 以上より、瀬戸芸を往訪する3地域からの旅行者に、香川だけでなく他の四国3県も周遊してもらうことができれば、宿泊日数を伸ばす余地があると考ええる。
- ・ そのためには、来訪者目線に立って、瀬戸芸以外の「四国」や周辺の「瀬戸内」エリアの観光地に関する認知や理解を深めるためのプロモーションを効果的に行うことが必要である。

(3) 来訪者目線を大切にして、「四国」への拡がりを意識したエリアマーケティングを行う

- ・ 3地域からの瀬戸芸往訪経験者の中には、熱心な「瀬戸芸リピーター」が多いと推察される。瀬戸芸だけでなく会期外も含めより広範に「四国」を旅行する顧客層を開拓するには、現在の「瀬戸芸リピーター」にとどまらない多様な観光客に四国に来てもらう必要があると考える。
- ・ 当アンケートでも、東アジア3地域において、地域によって瀬戸芸における往訪希望会場が異なる、との結果が出たが、地域や属性によって旅行者の趣向は大きく異なる。そのため、新たな顧客層に瀬戸芸をはじめとする「四国」へ来てもらうためには、地域や属性毎に異なる来訪者の目線に立って、瀬戸内国際芸術祭に限定せず、広く四国各地の観光資源を「エリア（広域）」で組み合わせるきめ細かく旅行者に提示することが重要である。
- ・ 以上のような来訪者目線に立った「四国」としてのエリアマーケティングの実施が、瀬戸芸を含めた四国全体の観光産業の底上げをもたらす、地域経済効果の拡大につながっていくものと考ええる。

3. アンケート結果を踏まえて

～来訪者の関心を「瀬戸芸」から「四国」へ広げ、地域経済効果を高める～

(4) 2025年大阪・関西万博など周辺エリアで開催される国際イベントを活用する

- 2025年に大阪で開催が予定されている日本国際博覧会（大阪・関西万博）をはじめ、西日本で開催される大きな国際イベントにおいても、来訪者目線に立ってより広域な拡がりを意識することにより、「四国」へ旅行者を呼び込むエリアマーケティングを実施することが重要であると考えます。
- 瀬戸芸がこれまで通りの3年おきの開催となれば、2025年に開催される大阪・関西万博は次々の瀬戸芸と開催が重なることになるであろう。大阪・関西万博の開催期間は5月3日～11月23日が予定されており、瀬戸芸の開催期間と大きく重なることが予想される。こうした機会を捉え、より広域なエリアマーケティングを行うことにより、大阪・関西万博を訪れる外国人旅行客を瀬戸芸に、そして「四国」に呼び込むことを考えても良いのではないかと考えます。

以 上

当レポート作成に当たっては瀬戸内国際芸術祭に携わる関係者の皆さまをはじめ、多くの方にご教示いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

©Development Bank of Japan Inc.2019

本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：日本政策投資銀行と明記して下さい。

本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。

株式会社日本政策投資銀行 四国支店 企画調査課

Tel : 087-861-6676

